

## 檜山管内 せたな町立瀬棚小学校

### 1 学習活動の概要

「ウポポイ」の各施設において、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「アイヌ古式舞踊」や、口承文芸、伝統楽器の演奏を鑑賞するとともに、様々な衣装や道具の見学をすることにより、アイヌの人たちの歴史や文化等について理解を深める教育活動を行いました。

### 2 取組の様子

#### (1) 事前学習

自分たちが住む「せたな」など、北海道の地名の語源がアイヌ語であるものが多いことを学んだり、「こんにちは」や「ありがとう」、「ごちそうさま」などのアイヌ語の日常会話を学んだりして、アイヌの人たちの歴史・文化等について理解を深めました。

#### (2) 見学活動

「アイヌ古式舞踊」、口承文芸を鑑賞することや、児童一人一人が興味・関心をもった内容を中心に見学学習を進めることを通して、アイヌの人たちの暮らしの中に根付いていた、貴重な伝統や文化について理解を深めました。

#### (3) 事後学習

学んだことを、グループ別にプレゼンテーション資料としてまとめ、施設の魅力や感じたこと、考えたことを学級全体に発表し、より一層理解を深めました。

その後、本校の読書推進活動の一つである、せたな町教育委員会と連携した「ブックフェスティバル」のボランティアによるアイヌの人たちの文化に係るお話「海から来た少女」の読み聞かせ活動を通して、アイヌの人たちの文化について、別の視点から理解を深めました。

また、アイヌの人たちの文化に触れる図書の紹介により、興味・関心を一層高めました。



【国立アイヌ民族博物館の見学】



【アイヌの人たちの文化に触れた読み聞かせ】

### 3 児童の感想等

- ・踊りや演奏に引きこまれました。「自分が普通に話している言葉は、アイヌ語だとどんな言葉なのだろうか。」や「他には、どんな踊りがあるのだろうか。」など、アイヌの人たちの様々な文化に興味をもつことができました。
- ・展示から、昔の北海道のことやアイヌの人たちのことを知ることができて楽しかったです。また、踊りの迫力がすごく、感激しました。